

令和 7 年度 東京都立第三商業高等学校 学校経営報告

東京都立第三商業高等学校長

智片 将也

豊かな人間性をもち、ビジネスに関して優れ、国際人として活躍でき、規範意識と責任、誠実な態度で積極的に前進する意欲を持つ生徒を育成する。「生徒一人ひとりが光輝く学校 SUN 商」をスローガンに、各種活動や地域社会に根差した活動を通して、自己の実現に向け、自ら考え判断できる創造的な生徒の育成を図っている。

教育活動については、商業科目を系統別に学べるように令和 7 年度入学生よりカリキュラムを一部変更した。さらに 1 年次に「ライフビジョン I」（学校設定科目）を新設し、キャリア教育を充実させた。授業評価アンケートにおいて「分かりやすく教えてくれたり、考えさせたりしてくれるか」という質問に対し、約 92%の生徒が「あてはまる」「ややあてはまる」と回答している。外部と連携した教育活動を 1 年次「ビジネス基礎」（DNP 大日本印刷株式会社）、2 年次「ビジネスアイデア」（株式会社オンワードホールディングス）、2・3 年次「商品開発と流通」（株式会社東京ユナイテッドバスケットボールクラブ、一般社団法人メタバース推進協議会、株式会社 D-ing）、3 年次「課題研究」（PwC あらた有限責任監査法人）といった多岐にわたる授業で行っている。外部連携は、来年度もさらに充実させていく予定である。また、国際交流の推進としてカナダ・バンクーバーに 2 年生の 10 名を海外語学研修に派遣した。

1. 今年度の取組と自己評価

	今年度の取組	自己評価
学校運営	①個人情報 を適正に管理し、教職員の意識を高め、サービス事故ゼロを目指す。 ②ライフ・ワーク・バランスを推進し、校務の負担軽減を図る。	①個人情報管理、体罰の防止を徹底し、職場の機運が高まり達成した。 ②校内におけるペーパーレス化、会議時間短縮、定時退出を推進した。
学習指導	①生徒が分かる授業を目指して、ICT 機器等の活用などによる授業改善。 ②社会貢献の意識向上のため、探究的な学びを通して課題解決能力を育む。	①一人 1 台端末統合型学習支援システムを活用した授業が多く見られた。 ②「ビジネスアイデア」では、外部と連携し探究的な学びが推進された。
進路指導・生活指導	①三年間を見通したキャリア教育を充実させ、生徒の資質を向上させる。 ②基本的な生活習慣の確立に向けて、組織的な生活指導に取り組む。	①学年主導によるキャリア教育を今後、進路指導部主導により系統化を図る。 ②登校指導では、多くの教員が指導に参加し身だしなみ指導を徹底した。
・特別の活動	①学校行事の充実と活性化を図り、生徒の主体的活動を支援する。 ②組織的にいじめの未然防止・早期対応と体罰の防止に取り組む。	①体育祭・文化祭などで生徒の主体的活動や自主的な運営が見られた。 ②組織的な情報共有が行われ、配慮を要する生徒等への見守りが行われた。
健康づくり	①スクールカウンセラーと連携し、生徒の心身のケアに努める。 ②生徒の安全教育や学校の安全管理体制を徹底する。	①SC と組織的な連携が実施された。今後特別支援教育の充実を目指す。 ②外部機関と連携し、非行防止・犯罪被害の防止に努めた。
・募集対策 ・広報	①募集対策・広報活動を充実させ、入学者選抜で適正な倍率を確保する。 ②学校 HP とツイッターを活用し、本校の特色を有効に発信する。	①出前授業を充実し倍率は 1.1 倍を超え前年より 0.22 ポイント増加した。 ②612 回ホームページを更新し商業教育の魅力を発信することができた。

2. 重点目標への取組と自己評価

取組	自己評価
①地域行事への参加、中学校や学習塾訪問を行い、本校の教育活動を発信する。	①生徒による母校訪問、出前授業、塾訪問を通じて本校の成果を発信できた。
②学校ホームページ等により、本校生徒の教育活動の情報発信を行う。	②学校ホームページを通じて、定期的に生徒の活動状況を発信できた。
③意欲ある生徒の確保のため特色ある教育活動を発信するための手段を検討する。	③大会等で顕著な成績を上げた部活動等を奨励し地域に発信することができた。
④生徒の進路実現に向けて、全教員による組織的な指導を実施する。	④夏季休業期間や就職試験直前に組織的な面接指導を実施できた。
⑤基礎学力の定着により、一般常識の指導を強化して進学対策を行う。	⑤英語対策として3年生に集中特訓講座を放課後実施した。
⑥資格取得を奨励し、検定合格に向けての指導を通じ、生徒の意欲向上を図る。	⑥多くの検定で目標を達成し、生徒の意欲向上を図ることができた。
⑦全校をあげて服装、頭髪、言葉遣い、授業規律など注意・指導を励行する。	⑦全教員による組織的な指導が行われ、規律ある学校生活を実現できた。
⑧登校時間や授業開始時刻を守らせ、はじめのある学校生活を送らせる。	⑧遅刻指導について、組織的・計画的な指導が実施できた。

3. 数値目標の達成状況

評価項目	年度当初の目標	実績
①推薦に基づく選抜の応募倍率	1.20倍	1.37倍
②学力検査に基づく選抜の応募倍率	1.00倍	1.10倍
③本校への入学満足度	90%	82.5%
④生徒の授業満足度	80%	91.3%
⑤進路決定率	100%	100%
⑥特別支援に関する委員会開催回数	3回以上	3回
⑦学校ホームページ等の発信回数	300回	612回
⑧簿記3級合格率	70%以上	76.8%
⑨一般需用費のセンター契約集約率	75%	76.0%

4. 次年度以降の課題と対応策

課題	対応策
①教科指導の充実・発展	①小論文指導の充実と英語研修プログラムを充実させ学力の向上を図る。
②地域や企業と連携した教育の充実・発展	②地域の祭りやイベントのボランティア活動に協力し引き続き連携を充実させる。
③生活指導の改善・充実	③規律を守る指導を充実させつつ、挨拶等生徒の自発的な行動力を高めさせる。
④進路指導の充実	④総合型選抜への対応を充実させるため、組織的な指導を施し進路実現を目指す。
⑤広報や募集活動の改善・充実	⑤中学生と保護者が関心を持ちやすい切り口から商業教育の魅力を発信する。
⑥特別支援教育の充実	⑥定期的な情報共有の場の創出と、都立学校エリアネットワークとの連携強化。
⑦教職員のワークライフバランスの推進	⑦ストレスチェックの集団分析や健康診断結果を活用して、継続して推進する。